

浜松観光ボランティアガイドの会

令和5年度 定期総会開催

令和5年度の定期総会が4月24日(月)に会員123名中104名の出席、来賓5名(浜松市産業部観光ブランド振興担当部長斎田一朗様、公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー顧客推進事業部長鈴木康久様、遠鉄アシスト(株)指定管理サービス課課長篠ヶ瀬順也様、浜松城公園統括責任者石田英樹様、浜松まつり会館館長中村敏幸様)のご臨席をいただき、ホテルコンコルド浜松にて開催しました。

開会のことば、そして会長の挨拶となり、はじめに来賓の皆様への出席に対してお礼を述べました。「コロナ禍ではありますが一年を通して例年通りの活動が出来た事、そしてコロナに罹患した人の報告がなかったことを皆さんに感謝します。コロナは消滅したわけではありませんので、ガイド活動には十分な注意をお願いします。今年1月よりNHK大河ドラマ『どうする家康』の放映が始まり、3月18日にはドラマ館のグランドオープンを迎え、ますます浜松へお出でになる人数が増えてきました。その上ドラマは浜松時代になってきています。ビューロー様の依頼で、駅からドラマ館までの同行ガイドを4月から土日祝日限定で始めました。また、JTBからの依頼で資料館では引換券と記念品の交換を行うなど、今まで以上に忙しくなります。それに加えて西部観光ボランティア協議会が今年は当番に当たっており、10月または11月に開催する予定です」と力強い言葉でした。



総会 風景



浜松市・斎田部長

「初めて貴会の総会に出席し、盛大に行われていることを知りました。観光行政の協力に感謝を申し上げます。ドラマ館の入館者数が10万人をすでに超えました。また4月23日の大河ドラマには浜松城、元城町東照宮、遠江分器稲荷神社がゆかりの地として登場しました。そうして何より浜松まつりの目玉としての5月5日の騎馬武者行列があります。松本潤さんと3名の俳優さんが出演します。皆さんに協力をお願いします、おもてなしを一緒にしたい」と結ばれました。来賓の方々が退席され、いよいよ議長選出となり、鈴木猛二副会長が指名されました。

議事進行は令和4年度事業報告・会計報告並びに監査報告にはじまり、役員改選で副会長3人体制になることを発表しました。それから今年度の事業計画と予算が通り、会則改正において会長の選任要件が追加され承認されました。

続いて10年勤続表彰となり16期7人(1人は休会)に表彰状と記念品を贈与しました。最後に新入会員25期の皆さんの紹介があり、無事総会が終了しました。



10年表彰者(左から)鈴木・島津・松本・植田・戸塚さん

令和5年度総会に当たり「会員の皆さまへ」



挨拶に立つ鈴木会長

令和4年度も前年に引き続きコロナ禍での活動になりましたが、会員各位の協力により、1年間コロナに罹る会員も無く終えることが出来ました。ただ残念なことに、1月に貫い事故とはいえ2件の交通事故がありました。いずれも会の活動に向かう途中の事だと聞いております。くれぐれも様々なことに注意して活動をしてください。

本年は大河ドラマ「どうする家康」プロジェクトチームを発足、毎月会合を開き、それこそどうするとの思いで話し合いを重ね、観光バスツアーの団体ガイドの中止・ドラマ館へのボランティアの参加を妨げないとし、ビューロー様よりの提案である駅からドラマ館までのガイドを採用しました。各専門部の行事は、研修部主催のバスにての研修と浜松まつり以外は例年通り実施出来た事、また各ブロックのミニ研修の再開等徐々にコロナ前に戻りつつあります。しかしコロナが消滅したわけではありません。ガイドの会はお客様との会話で成り立っておりますので十分注意しての活動をお願いします。

さて大河ドラマが1月より始まり、城・犀ヶ崖資料館・駅の来場者が増えてきています。3月19日放送分から浜松時代が始まりました。ちなみに令和4年度の入城者数は浜松城が217,581人、浜松まつり会館が17,816人、犀ヶ崖資料館が14,533人、そして駅の接客数が3,733人です。今年度は駅からドラマ館までの同行ガイドを土日祝日に実施、JTBより依頼の犀ヶ崖資料館にて引換券と記念品の交換が始まり、今まで以上に忙しくなることと思います。また、昨年完成した小学生向けリーフレットを活かすべく教育委員会の人づくりネットワークに登録しました。

さて、令和5年度(25期生)として新たに21名の会員が加わり、総勢123名の会員数となりました。会員一人一人が浜松の顔との思いを持ってお客様と接し、もう一度来てみたいと思っただけのようお願いします。

また会のモットーであります「明るく・楽しく・やらまいか」の言葉を心に、令和5年度もよろしくお願いします。

会長 鈴木利雄

新入会員現地研修 「浜松駅周辺」

4月3日(月)、この季節には少し暑いくらいの天候に恵まれ、駅周辺の新人研修が実施されました。浜松駅南口のポストに集合後、まずは駅のインフォメーションセンターで杉田さんから話を頂きました。「コロナ禍で観光客が激減してしまったけれど、今年は大河ドラマ『どうする家康』もあり、多くの観光客が来てくれると期待している、駅インフォメーションと観光ボランティアガイドの会が協力して浜松を盛り上げていきましょう」と期待を込めて話をされました。



シヨパンの丘にて



本田技研工業株式会社本社跡にて

インフォメーションの確認後、いよいよ駅周辺の重要ポイントのチェックです。25期17人、24期1人、研修部7人、事務局1人、広報部1人、総勢27人の大所帯だったので、3グループに分かれて巡りました。多くの新入会員にとって、駅は今まで通り過ぎる場所であったので、ロッカーの場所や、トイレ、エレベーターの位置など、これまでとは異なる視点で駅周辺を見直すことが出来、まるで自分達も観光しているようだと感じました。

さて、シヨパンの丘で全員の記念撮影をしようと思ったところ、第1グループがいません。なんと第1グループはもうすでに本田技研本社跡地に向かっていたので、2カ所に分かれて記念撮影をしました。

新入会員の現地研修はまだまだ続きます。始めは覚えることがたくさんあって大変かもしれませんが、浜松に来てくれたお客様達により浜松を楽しんでもらえるよう、一緒に頑張っていきましょう。

広報部 松沼素子(南ブロック)

新入会員の入会動機



私個人が浜松地区の歴史、史跡、産業、偉人等に興味があり、さらに、知識欲を深めるため、この会に応募しました。この会の皆様はその知識が豊富であり、コミュニケーションを取ることで、更なる向上を目指していきたいと思っております。

さらに、浜松を浜松在住の人やそれ以外の人々（外国人も含む）にPRしていき、浜松の魅力を感じて、ひいきに思ってもらいたいと思っています。

北ブロック 小栗康男



以前から関心がありましたが、仕事の休みが自由に取れないのであきらめていました。最近ちょっと休みが取れ易くなったので一念発起して新しい事に挑戦してみようと応募しました。

城と歴史、特に戦国時代の女性たちの生き方に興味があります。

東ブロック 杉浦益代



60才まで主に東京で仕事をしていましたが、定年退職を機に、生まれ故郷の浜松に戻ってきました。現在もまたサラリーマンをしていますが、以前より、仕事以外に社会との何らかの接点、例えば、何かボランティア的な活動に関わりたいと考えていました。

地元の歴史に興味がありましたので、はままつ案内人のHPを見て、ガイドをしてみようと考えました。平日フルタイムで働いていること、新入講座が平日であること、コロナウィルスの感染拡大等で、なかなか決心が付きませんでした。NHKの大河ドラマ放送開始を良い機会と考え、本会の受講を申し込みました。

実際の活動は、平日は難しいので、土、日、祭日を中心になるかと思っています。どこまでできるようになるか、期待と不安で一杯ですが、少しずつでもガイドができるように努力してゆきたいと思っています。よろしくお願ひします。

東ブロック 前田 実



ボランティア講習は、妻が浜松市の広報誌を見ていて、歴史に関心があるし、家に閉じこもっているよりも良いからと勧められて参加することにしました。

最近足腰が弱ってきたので、せめて現状は維持したいと毎日散歩などをしていますが、年を取ると若い頃のように中々効果が上がりません。どの程度活動ができるか不安はありますが、一応登録して健康状態を見ながら活動してみようかと思っています。

南ブロック 中村 豊



現役時代は、旅行会社で企画手配、添乗業務をしてまいりました。退職し時間ができ日々、漠然と何かをしたいと思いつつ過していた時、広報はまつの「観光ボランティアガイド養成講座」の記事が目にとまりました。今までの観光業界の経験と各地の観光地でボランティアガイドさんと接する機会もあり、私にもできるかなど、講座に申し込みをしました。新しいことにチャレンジすることでたくさんの方々との出会いに期待し、少しでも成長できればと思っています。

西ブロック 山内ひさ子

“どうする家康 浜松 大河ドラマ館” 同行ガイド



同行ガイドコース(参考)

4月22日(土)に実施した同行ガイドについてご報告します。午前の部2名、午後の部1名と少人数での催行でしたが、当日午前10時の時点では1名も予約が入っておりませんでした。ビューローの方が積極的に声掛けをしてくださった結果、少ない人数ですが実施することができました。

午前は岐阜からのご夫婦で、北ブロックの曾布川千佳子さんの説明を熱心に聞いて、時々鋭い質問をされていました。午後は東京からのお城好きの女性で、浜松城の説明も聞いてみたいとのことでしたので、お城の当番ガイドに引き継ぎました。今にも雨が降り出しそうな空模様でしたが、幸

いにも降られず、無事に同行ガイドを終えることができました。

広報部 都築厚好 (北ブロック)

新入会員現地研修 「家康の散歩道・前半」

4月17日(月)25期18名、副会長1名、研修部9名、広報部1名の参加で家康の散歩道前半の「城内・城下ルート」が研修部主催で実施されました。朝9時半に浜松城公園の南エントランスから出発、距離が6km超となる本日が、研修の中で一番歩く距離が長かったようです。

元城町東照宮から椿姫観音をめぐると、「どうする家康」お田鶴役の関水渚さんのサインがガラスケースの中にあり、ドラマの話で盛り上がりました。浜松城の鬼門にあたる浜松八幡宮では、宮司さんが出迎え丁寧に拝殿の説明をしてくださいました。



ドラマの話で盛り上がった椿姫観音

疲れが見えはじめましたが、誰一人として遅れることなく予定通りに歩くことができました。最後に秋葉神社、浜松城出丸跡を確認し、鎧掛けの松でゴールとなりました。

今回、同行したグループの中で一番若い30代、北ブロックの原田隆史さんは、元より歴史に詳しく、「若いうちから長く在籍し、知識を深め浜松を背負っていけるガイドになりたい」と、率先して研修部とともに歩く姿がみられました。

北ブロックの高羽百代さんは「近所ながらほとんど行ったことがなく、楽しかった。早く皆さんについていけるようになりたい」と笑顔で答え、中ブロックの鈴木孝久さんは「知っているようで知らないことがあった」とたくさん写真を撮っていました。

25期の皆さん、研修部の皆さん本当にお疲れさまでした。

そして、2代將軍徳川秀忠公誕生の井戸、遠江分器稻荷神社を回る頃には25期生同士で会話をすることもみられるようになりました。

途中、25期東ブロックの鈴木智子さんに話を聞くと、「県外出身で長く住んでいるものの、浜松の歴史について学んだことがなく、皆さん(ボランティアガイド)から話を聞いて、すべてが新鮮で新しく、参加してよかった」と町歩きの楽しさを実感しているようでした。

その後、松尾(まつのお)神社、鍛冶町の氏神として信仰のある金山神社、秀忠公の産土神の五社神社・諏訪神社を過ぎる頃には



浜松八幡宮で熱心に説明を聞く

広報部 久保田 絢子 (中ブロック)

4月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター(浜松駅構内)」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《犀ヶ崖資料館》

19日 水	佐鳴湖健歩会	50名
	新居老人会	19名
20日 木	磐田市城山中学校	4名
25日 火	袋井市浅羽中学校	6名

《浜松城》

団体ガイド活動はありません

《浜松まつり会館》

団体ガイド活動はありません

はままつ案内人会報 250号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会
 〒430-0946 浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)
 TEL 053-456-1303
 メールアドレス mail@hama-svg.jp
 ホームページ http://www.hama-svg.jp/



家康公ゆかりの地

はままつ案内人

検索